

東西しらかわ農業協同組合

事業のご案内

(令和2年度半期開示)

第20期中

令和2年3月1日

令和2年8月31日



目 次

半 期 開 示 項 目

I. 財務状況・事業に関する事項

1 金融再生法開示債権	1
2 単体自己資本比率	1
3 主要勘定の状況	1
4 有価証券等時価情報	1

II. 社会的責任と貢献活動	2
----------------	-------	---

半 期 開 示 項 目

(令和2年8月末基準)

I. 財務状況・事業に関する事項

1 金融再生法開示債権 (単体)

(単位:百万円)

債権区分	令和2年8月末	令和2年2月末	増減
破産更正債権およびこれらに準ずる債権	111	123	▲12
危険債権	71	86	▲15
要管理債権	1	1	0
正常債権	15,517	15,322	195
合計	15,700	15,532	168

令和2年8月末の計数は、次の方法により算出しています。

- (1)各債権区分は、令和2年2月末時点の債権額を基準として、令和2年8月末時点の残高に修正している。
- (2)令和2年2月末から8月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更している。

2 単体自己資本比率

令和2年8月末	令和2年2月末
18.24%	14.78%

- (1)平成18年金融庁・農林水産省告示2号「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」に定められた算式に基づき算出しています。
- (2)令和2年8月末の自己資本比率算定上、期末の外部流出予定額は未定であることから控除していません。

3 主要勘定の状況

(単位:百万円)

	令和2年8月末	令和2年2月末	令和元年8月末
貯金	58,595	64,018	62,006
貸出金	16,009	15,496	16,193
預け金	41,286	46,657	44,852
有価証券	601	322	328

4 有価証券等時価情報

(単位:百万円)

区分	令和2年8月末			令和2年2月末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-
その他	601	595	▲5	303	323	20
合計	601	595	▲5	303	323	20

8月末の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価としています。

Ⅱ. 社会的責任と貢献活動

組合員の営農と生活を守るというＪＡ本来の責任と併せて、安全・安心な食料の安定供給の確保、環境保全、地域社会への貢献という社会的責任を実現する活動を展開しています。

1. ＪＡの持つ社会的責任と公共的使命を認識し、健全な事業運営の徹底をはかっています。

農協法第１条においては、「農業者の協同組織の発達を促進することにより、農業生産力の増進及び農業者の経済的社会的地位の向上を図り、もって国民経済の発展に寄与することを目的とする。」と規定されています。

このようにＪＡには、社会的責任と公共的使命が負託されており、あわせて協同組合組織としての存在目的との両立が求められていることを、私たちはいつも意識して事業を遂行してまいります。

こうした社会的責任と公共的使命を全うするためには、業務の健全かつ適切な運営が求められています。

このためＪＡにあっては、経営の自己責任原則を徹底するとともに、倫理に関するルールを構築し、これを組織全体に浸透・定着させています。

2. 「農」と「共生」の地域社会づくりによる、安心して暮らせる地域社会への貢献活動を行っています。



広報誌と一緒にマスクを配布

- ・ＪＡ東西しらかわは市町村はじめ関係機関と連携して、「農」と「共生」の地域社会づくりをすすめていきます。
今年には組合員の健康を守るため、組合員全戸にマスクを配布し、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めました。
(組合員へ計６万枚を配付しました。)

- ・新型コロナウイルスの影響で収入減少が生じている学生を支援するため、矢吹町の農業短期大学や日本大学工学部、奥羽大学へコシヒカリ（２キロ）１５０袋を贈呈しました。



贈呈された米を受け取る生徒



地域見回り活動車両

- ・地域住民が安全・安心に生活できる環境づくりを目指して、見守り車両を導入し、地域団体と使用について協定を結びました。今後も関係団体と連携・協力して地域の安全を守ります。

3. 地域貢献情報

J A東西しらかわは、白河市表郷（関辺地区を含む）、東白川郡棚倉町、埴町、矢祭町、鮫川村、西白河郡矢吹町（三神地区を除く）と岩瀬郡天栄村の一部を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当J Aの資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当J Aでは資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当J Aは、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しています。

また、J Aの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助けあいを通じた社会貢献に努めています。

地域からの資金調達の状況

(1) 貯金残高 585 億 9 千 5 百万円

(2) 貯金商品

「スプリング」、「ナツトク」の各種キャンペーンを実施し、シーズンマーケティングを実践。キャンペーン対象商品契約者へグッズをプレゼントするなど、幅広いお客様に好評をいただいております。また、みりよく満点金融商品として、「給振定期貯金」「シルバー定期貯金」や定年退職を迎えた方の第二の人生を応援する特別優遇金利商品「退職金定期貯金」等を取り扱っております。

地域への資金供給の状況

(1) 貸出金残高 160 億 9 百万円
（うち組合員 112 億 46 百万円）
（うち地方公共団体 20 億 72 百万円）
（うちその他 26 億 91 百万円）

(2) 制度資金取扱状況

地域農業の発展と豊かな暮らしづくりを支援するため、各種制度資金を取り扱っております。

・ 農業近代化資金

農業者等が農業の近代化と新たな事業展開を図るために必要な長期資金を提供します。

・ その他制度資金

農業の担い手自らの創意工夫により新たなチャレンジを応援する「農業改良資金」や新規就農者向け「就農支援資金」、自然に左右される農業経営の安定を図るため「農家経営安定資金」などを取り扱っています。

また、住宅金融支援機構、日本政策金融公庫の取り扱いも行っております。

(3) 融資商品

組合員をはじめ、地域にお住まいの方々の暮らしや農業の振興、また地域経済の発展にお役に立てるよう、特別金利による融資商品をご用意しております。

・ 特別金利での「教育ローンキャンペーン」、「マイカーローンキャンペーン」を実施しております。

・ 住宅の新築や増改築のほか、他金融機関からのお借換えにもご利用頂ける住宅ローンやリフォームローンをお取り扱いしております。

- ・組合員の皆様の農業経営を支えるための資金として、広くご活用頂ける「アグリマイティー資金」や農機具・ハウス等の購入資金として「農機ハウスローン」等をお取扱いしております。
- ・休日ローン相談会を2回開催しました。

文化的・社会的貢献に関する事項

(1) 文化的・社会的貢献に関する事項

食農教育として、例年小学校での「バケツ稲体験」や子供向け農業雑誌「ちゃぐりん」の贈呈などを行っていますが、今年はコロナ禍ということもあり資材の提供のみを行いました。今後も食農教育や地域の発展のため可能な限り活動を行います。

(2) 利用者ネットワーク化への取り組み

農青連活動では、地域活性化に協力するため休耕田を利用した蕎麦の栽培と、手作りかかしと看板を設置しました。女性部活動では、部員の活動への参加意欲を高めるために女性部オリジナルTシャツを作成し、全部員へ配布しました。



蕎麦の播種



手作りかかしを設置



女性部オリジナルTシャツ

(3) 情報提供活動

平成13年3月より、組合員と地域の皆様へJAの活動を発信するとともに、広いJA管内のひとつの交流の場として、広報誌「かがやき」を毎月発行、「コミュニティ誌」を年2回発行しております。また、ホームページやSNSを通じて、JA東西しらかわの情報を発信しております。

(4) 店舗体制

本店1、営農センター3、支店6、ATM設置台数11